

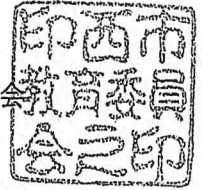


印西教学第1164号

令和3年3月3日

印西市情報公開・個人情報保護審査会  
会長 伊藤 義文 様

印西市教育委員会



GIGA スクール構想に係る通信回線（オンライン）結合による実施機関以外のものへの個人情報の提供について（諮問）

標記の件につきまして、当市では、令和3年4月1日より GIGA スクール構想に係る整備として、クラウドサービスを利用した教員と児童・生徒の双方向型学習システム及び学習用アプリケーションの導入を予定しております。

つきましては、印西市個人情報保護条例第9条第3項第2号の規定により意見を求めます。

【 担当 】

教育委員会教育部 指導課 教育センター

所長 穂戸田 0476-47-0400

教育委員会教育部 学務課 学務係

主査 藤代 0476-33-4704（直通）



## オンライン結合に係る実施機関以外のものへの個人情報の提供について

### 1 システムの概要

#### (1) Google for Education

Google for Education とは、Google が教育機関に向けて提供している「これからの教育現場に最適な ICT 環境」を実現するソリューションサービスであり、GIGA スクール構想（※1）の実現に向けて文部科学省が例示する3つのアプリケーション（※2）のうちの1つである。

Google for Education は「G Suite for Education」、**「Google Classroom」**で構成される。このうち、クラウドを活用して協働学習を行う「G Suite for Education」及びオンライン経由での生徒へのフォローアップや学習管理を支援する「Google Classroom」はオンライン結合に係るものと判断する。

Google for Education を利用し、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」、プログラミング思考を身に着ける「プログラミング教育」及び学習した内容や調べた内容をプレゼンテーションで発表する「探求型学習」等、新指導要領の視点に合致した教育活動がしやすくなる。また、児童・生徒の学習状況をクラウド上でデータとして管理し、各児童・生徒の習熟度に応じた教員と児童・生徒との1対1によるフォローアップができるようになり、個に応じた丁寧な対応をしやすくなる。

こうした新たな学習環境の整備により、従来、紙によって運用していた授業準備、教材作成もデータによる管理、生徒への配布が可能となり、教員の校務にかかる時間が短縮化され、授業及び生徒指導等への時間確保につながるものと考えられる。

#### ※1. GIGA スクール構想とは

児童生徒1人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を全国の教育現場で実現させる構想

#### ※2. 文部科学省が例示する3つのアプリケーションとは

例示1 Windows OS 端末 教育機関向け Office365 ライセンス（無償）

例示2 Chrome OS 端末 G Suite for Education ライセンス（無償）

例示3 iPad OS 端末 Apple 社が提供する教育用アプリケーション（無償）

## (2) ベネッセ「ミライシード」

「ベネッセミライシード」は、株式会社ベネッセが提供する「一斉学習・個別学習・協働学習それぞれの学習場面に対応したアプリを備える学習用オールインワンソフト」である。

このアプリには、児童生徒の考えやアイデアをカードに記入して協働学習を行う「オクリンク」「ムーブノート」や、個々に合ったレベルやペースで主体的にドリル学習に取り組む「ドリルパーク」を含む。

これらのアプリへのログインは、先に述べた「Google for Education」と連携し、シングルサインオンによるログインが可能となっている。そのため、これらアプリもオンライン結合に係るものと判断する。

## 2 アクセス権限を持つ者 及びアクセスできる情報

### (1) Google for Education

各学校の児童生徒及び各学校教員

#### (1)各学校教員

児童・生徒の名前、学年、学級（クラス）、児童生徒の提出物等

#### (2)児童・生徒

自分自身に関する情報、教職員や他の児童生徒が他の児童生徒に提示した情報

### (2) ベネッセ「ミライシード」

各学校の児童生徒及び各学校教員

#### (1)各学校教員

児童・生徒の名前、学年、学級（クラス）、学習の進捗状況（ドリル）

#### (2)児童・生徒

自分自身に関する情報、教職員や他の児童生徒が他の児童生徒に提示した情報

### 3 システム（ネットワーク）構成図

市内小中学校27校の児童生徒用情報は各学校に設置したファイアーウォールを経由してインターネットに直接接続する。

各学校に設置したファイアーウォールは、SSL-VPN 通信でインターネットからリモートで管理を行う。また、各教室に設置したアクセスポイントは、データセンターからインターネットを経由し UNIFAS 上で管理を行う。

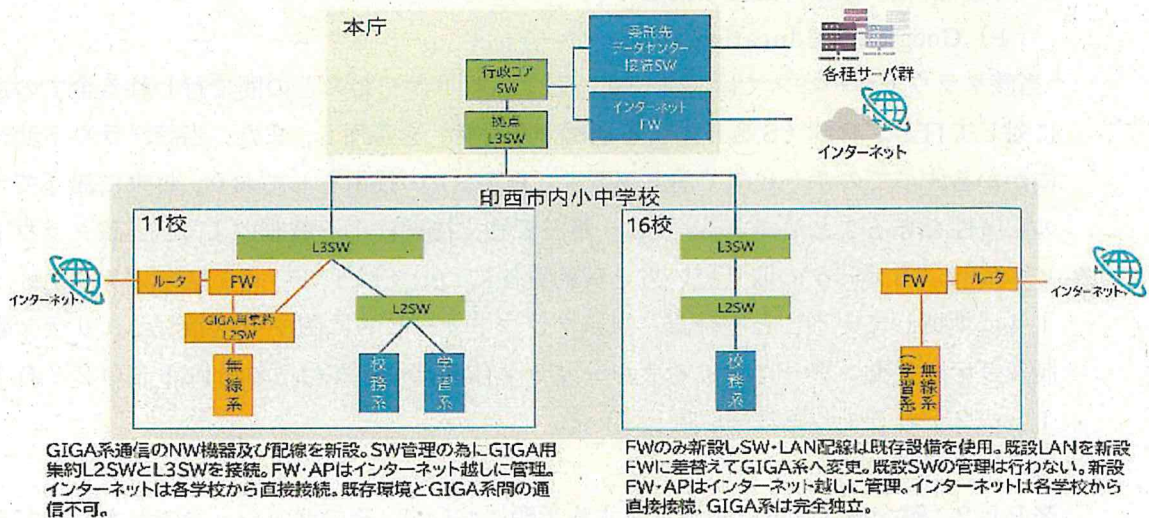
#### (1) ネットワーク敷設工事を実施した11校

- ・内野小学校・木刈小学校・小倉台小学校・西の原小学校・原小学校・いには野小学校
- ・滝野小学校・木刈中学校・西の原中学校・印旛中学校・滝野中学校

#### (2) ネットワーク設定変更工事を実施した16校

- ・木下小学校・小林小学校・大森小学校・船穂小学校・原山小学校・高花小学校
- ・小林北小学校・六合小学校・平賀小学校・牧の原小学校・本埜小学校
- ・印西中学校・船穂中学校・小林中学校・原山中学校・本埜中学校

### ネットワーク構成図



#### 4 公益上の必要性

##### (1) Google for Education

当該クラウドサービスを利用することでオンラインによる授業の実施が可能となり、緊急時においても切れ目ない学習環境、教育の機会提供をすることができる。また、児童・生徒一人一人との双方向型の一斉授業が可能となり個人個人に最適化された学習の提供が可能となる。更に、ICTの活用により、教師の授業準備の負担が軽減され教員の労働環境改善が実現される。

##### (2) ベネッセ「ミライシード」

当該サービスを利用することで、ICT 機器を活用した協働学習をより容易に実施することができ、日常の授業において教職員や児童生徒の操作面での負担を軽減しつつ、積極的な意見交流や共同作業の実施につながると考える。

また、個々の学習意欲や進捗、誤答の傾向を踏まえた出題が可能となるアプリを利用することで、従来よりもより個別最適化された学習環境を整備することができる。

さらにそれら学習の取組状況、進捗を教職員が適切に把握することで、各児童生徒の習熟度に応じた教員と児童・生徒との1対1によるフォローアップができるようになり、個に応じた丁寧な対応をしやすいとなる。

#### 5 個人情報の保護に必要な措置

##### (1) Google for Education

当該クラウドサービスでは、ユーザーとクラウドサービスとの間で行われる全ての送受信に対してHTTPS (SSLによる通信の暗号化) を適用し、また、当該クラウドサービスにかかるすべてのサービスで前方秘匿性 (PE S) の技術をしており、将来に渡ってデータの秘匿性を守ることができる。更に、第三者独立機関による監査により、当該クラウドサービスにおけるデータの取り扱い方と契約責任についてはISO/IEC 27018:2014に準拠していることを確認。当該クラウドサービスに関する情報セキュリティ管理体制及びデータセンターにおけるセキュリティ体制についてはそれぞれISO 27017, ISO 27001の認証を取得している。

※PE S: 鍵交換プロトコルを利用する手順において、そのセッションでしか利用しない一時的な鍵ペアを作成し通信すること。仮にこの一時的な鍵ペアが漏えいしても、暗号通信が解読される範囲を一部に限定することができる。

※ISO/IEC27018:2014:クラウドサービス事業者がパブリッククラウド上で管理する個人情報の保護に焦点を当てた国際規格。個人情報の取り扱い方法における正確性やシステムの堅牢性、運用における透明性などにおいて、世界標準に準拠しているといえる。

※ISO27017:クラウドサービスに関する情報セキュリティ管理策のガイドライン規格。

※ISO27001:情報セキュリティ全般に関するマネジメントシステム規格。

## (2) ベネッセ「ミライシード」

「株式会社ベネッセコーポレーションによる個人情報保護の取組」より抜粋

### ① 法令、国が定める指針、その他の規範の遵守

当社はあらゆる事業活動において個人情報を利用する特性上、個人情報に関する法律および関係法令、個人情報保護委員会および主務官庁のガイドライン、所属団体などのルール等、ならびにその精神を遵守することの重要性を認識し、従います。

### ② 個人情報の適正な取得、利用および提供

事業の内容及び規模を考慮した適切な個人情報の取得、利用及び提供を行います。取得に際しては、利用目的を明らかにし、お客様にお知らせした目的以外の使用はしません。また、目的外の利用や提供を防止するための措置を講じます。法令に基づき適正に提供を要求された場合、および利用目的を遂行するために業務を委託する場合を除き、お客様の個人情報を第三者に提供しません。

### ③ 個人情報の適正管理

次のような適正な管理を行うことで、常に個人情報の保護に務めます。・個人情報保護最高責任者（ChiefPrivacyOfficer）を任命し、規程の実行を監督する責任者としています。

- ・漏洩、紛失、き損、改ざん、誤用、不正アクセス等を防止するための厳重なセキュリティ対策の実施
- ・セキュリティ対策の実施、最適化のための是正措置、及び個人情報を保護、管理する体制の継続的改善
- ・安全な環境下で管理するための、個人情報データベースへのアクセス制限の実施・個人情報の保護についての社員教育の徹底
- ・緊急時の対応体制の設置および原因究明と再発防止のための改善、是正措置・利用目的遂行のために業務を委託する場合、個人情報の取り扱いに関する委託先の適正な管理および監督を行います。

④ 開示、訂正、利用停止等の手続き、個人情報保護に関する苦情・相談等のお問い合わせへの対応

・当社の個人情報データベースに保管されているお客さまの個人情報をできる限り正確、完全、最新に保つために、別途定めるルールに準拠してお客さまのご請求により、速やかに訂正等を行います。

・当社からお送りする郵便やe-mail等によるご案内が不要なお客さまには、お申し出いただくことで、ご案内を差し止めるお手続きをお取りします。

⑤ 個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善

個人情報の保護に関する社内のマネジメントシステムを役員および従業員に周知徹底します。また、これを実行し、維持するとともに定期的に見直しをし、継続的改善に努めます。

● 「ミライシード」に関する個人情報保護の取り組み

① データ保護

バックアップデータを日次で自動取得し、管理を行います。

② 盗聴対策

ミライシードASP版は、すべてSSL通信による暗号化にて、その安全性が担保された通信手段を用いています。

③ 監視

24時間365日監視体制を構築し、ASPサーバ管理運営を行います。

④ データ運用・保守

顧客情報の扱い有無によって、執務スペース分割（入室権限分割）やセキュリティゲート等による物理的アクセス制御を行って、サービス運用を行います。また、専用スペース、端末による運用保守を行い、専用ソフトウェア利用によるデータ保存、持ち出しの制御、担当者別の権限制御を行います。

⑤ 認証

株式会社ベネッセホールディングスと株式会社ベネッセコーポレーション及び株式会社ベネッセインフォシエル（いずれも本社：岡山市）は、情報セキュリティマネジメントシステムに関する国際認証規格であるISO27001（ISMS）を認証取得しています。また、株式会社ベネッセコーポレーションは、一般財団法人日本情報経済社会推進協会

（JIPDEC）の審査を受け、プライバシーマークを認証取得しています。



⑥ 遵守

文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（令和元年12月版）」に準拠した環境にてサービス提供を行います。

6 契約終了に伴うデータの取り扱いについて

契約が終了する場合、商業上合理的な期間の後 Google は Google のアクティブサーバーで該当児童・生徒のデータへのポインターを削除し、順次上書きすることによって該当児童・生徒のデータを削除する。また、要請に応じて、各当事者は、商業上合理的な努力によって直ちに相手方のすべての機密情報を速やかに返却または破棄するものとする。

